

頭部疾患における医療連携ポリシー

1, 救急搬送受諾・紹介患者の受入に際した即応体制を調える

緊急性の高い頭部疾患に対し、速やかな応需体制を堅守し、必要とされる急性期医療をスピーディー且つ丁寧に提供する。

また初期の集中治療が必要な患者に対し、彩の国東大宮メディカルセンターとの地域医療連携体制を構築し、切れ目のない医療・看護を提供する。

2, 受入後の迅速診断と後方搬送・医療連携

救急搬送後の病態に合わせた処置・検査を行なう。

医療連携が必要と判断した場合、彩の国東大宮メディカルセンターの**ホットライン**を通して協働し、速やかに治療を開始できるよう手配する。

3, 彩の国東大宮メディカルセンターからの慢性期・経過観察の受入体制

彩の国東大宮メディカルセンターでの急性期治療を終えた『慢性期・維持期』の患者受入を蓮田病院・地域医療連携室にて担い体制を強化する。

急性期治療後、継続的な医療管理を必要とする患者、生活背景によりレスパイトケアを必要とする患者等に対し、彩の国東大宮メディカルセンターと治療方針を共有し、つなぎ目のない医療・看護を念頭に柔軟な病床運用・受入を行ない『思いやりのあるやさしい医療』の理念に沿った医療提供に努める。

4, 介護施設との連携

治療を終え在宅療養となる患者・介護を必要とする患者等に対し、患者のニーズとウォンツに応じた提案を行なう。

独居等によりQOLの維持が困難な患者に対して、地域包括ケアシステムを活用したスムーズな医療・介護連携を提案し地元のかかりつけ医として中核を成す病院となり、患者の再有事には、彩の国東大宮メディカルセンターと連携を行ないながら安心の医療と介護体制に尽力する。

ホットライン(月～土)※日祝除く



080-3303-2012



9:00～17:00

上記以外の時間は、048-665-6111 (代表)

